

第8回世界自閉症啓発デー（平成27年4月2日）に寄せて
（大臣メッセージ）

4月2日は「世界自閉症啓発デー」です。また、今日から8日までは「発達障害啓発週間」です。自閉症をはじめとする発達障害への理解を深めるため、東京タワーや日本各地のランドマークを「癒し」や「希望」などを表す青色でライトアップする「ライト・イット・アップ・ブルー」を中心として、様々な啓発イベントが行われます。

厚生労働省では、平成17年に施行された「発達障害者支援法」に沿って、発達障害のある人やその家族の支援として、乳幼児期から成人期までの各ライフステージに対応した様々な施策に取り組んでまいりました。法律の施行から10年が経過しましたが、発達障害のある方々の中には、その行動や態度が「自分勝手」、あるいは「変わった人」「困った人」と誤解され、生きづらさを感じながら生活している方々がまだまだおられます。

自閉症をはじめとする発達障害は、親のしつけや教育の問題ではなく、脳機能の障害によるものです。そうした理解が広まれば、周囲の人の接し方も変わってくると考えます。国民の皆様には、「世界自閉症啓発デー」を契機として、自閉症をはじめとする発達障害への理解を深めていただきたいと思います。

厚生労働省としても、当事者やご家族の皆様の声をしっかりと聞きながら、発達障害のある人が一人ひとりの力を発揮でき、安心して暮らしていける社会の実現に向けて、引き続き全力で取り組んでいきます。多くの皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

平成27年4月2日

厚生労働大臣 塩崎 恭久